

新たな市政改革の基本的な考え方について（案）（概要版）

市政を取り巻く現状と見通し

本市の社会・経済状況の変化と問題点

- ・人口構成等の変化 = 少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少、高齢単身世帯の増加など
- ・産業構造等の変化 = 地域経済の低迷、中小製造業等の不振、事業所数の減など
- ・地域コミュニティの活動力低下への懸念 = 町会加入率低下、担い手不足、後継者難など

社会・経済活動の低迷（税収減）

社会の課題の増大・多様化・深刻化

の同時進行！

リーマンショック ……
収支均衡の見通し → 税収減と扶助費の増により平成 30 年度に 2600 億の累積赤字の見通し！
極めて厳しい財政状況！

行政中心の公共サービス供給の枠組み維持が困難に！

ふたつの課題

緊急課題 = 危機的な財政収支状況の克服

根本的な課題 = 必要な公共サービスを確保し、都市の持続的発展には確固たる財政基盤の確立、抜本的・総合的な取り組みが必要

ふたつの取り組み

緊急的な取り組み

「真に必要なサービスが真に必要なところに効率的にとどいているか」

事務事業の見直し 収入確保と資産の有効活用 市役所のスリム化
国の政策方向の注視

3～5年程度の集中的取り組み

「地域から市政を変える」取り組み（公共の再編）

多様な担い手が公共サービスの選択と提供に参画、地域ごとの特性を活かし、公共活動のあり方を再構築！

共通の視点は…
外部効率性と選択と集中

事務事業の総点検 ゼロベースからの点検・精査を行った総点検の成果と新たな改革の視点からの検討

地域力の復興と市役所力の強化

○地域力の復興の取り組み課題 — 地域が元気になる取り組み

- ・市民力の充実（人材を増やす 人材を育成 活動のPR 地域への愛着・・・）
- ・場と機会の充実（場をつくる 機会をつくる 企業の協力・・・）
- ・新たな仕組みづくり（支援の仕組みの再構築 実践の場、大学との連携・・・）
- ・資金確保、情報提供支援と仕組みづくり
- ・公共の担い手づくり（市役所の仕事を市民による社会的ビジネスへ）

○市役所力強化のための取り組み課題 — 地域を元気にする取り組み

- ・体制づくり（区役所の改革 経営形態の再構築 外郭団体改革 企画力の向上・・・）
- ・職員づくり（施策・事業の立案力 コーディネート力・・・）、
- ・「良きガバナンス」（透明性・コンプライアンス 意思決定の合理化・明確化、責任・・・）
- ・事務事業の再構築（外部効率性 市内一律型サービスから地域のニーズと選択によるサービスへ）
- ・地域主権の確立に向けた取り組み
- ・地域主権の確立に向けた他自治体との連携 自律した都市としての国と府との関係

（取り組みの課題）

10年程度の視野に立った取り組み

市役所はそれを支える

- ・セーフティネットの維持、再構築
- ・新たな社会的ニーズへの対応など
- ・パフォーマンスアップに向けた適切な権限行使などに集中

どんな方法で

市民・地域団体・NPO・企業・行政など本市の担い手が、互いに自律したパートナーとして 協力・連携し、本市のパフォーマンスを高める取り組み（マルチパートナーシップ）で

その取り組みが

まちの担い手が、大阪を「わっしょい」と担うムーブメントに市民の自律と地域の再生・活性化による地域力復興 「大阪ルネサンス」

そして、

顧客満足、受身の満足から公共を担う主体的な「生活者」としての満足へ市民の満足が都市の価値向上へ、地域主権の基礎と

「参加による市民満足向上と都市の価値向上」へ

「大都市、そしていちばん住みたいまちへ」